

令和6年度事業報告及び附属明細書

公益財団法人東京防災救急協会

令和6年度事業報告書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

令和6年度は、急激な物価高騰や社会のグローバル化等、社会情勢の変化に対応しながら、都民が安心して暮らせる社会の実現を目指し、防火・防災・救急業務関係者の育成及び都民の防火・防災・救急の意識と行動力の向上に関する各種事業を積極的に推進した。

I 公益目的事業

防火・防災業務関係者の育成及び都民の防災・救急に関する意識と行動力の向上を目的に事業を実施した。

1 公1事業

(1) 防火・防災・応急手当普及啓発事業(公1-1)

ア 普及啓発事業

- (7) 「SAFETY LIFE TOKYO」(以下、「SLT」という。)の発行
防火・防災及び応急手当の知識に関する情報を掲載した情報誌を作成し、都民や学校、病院等の事業所及び区市町村に配布し、普及啓発事業を実施した。

【29号】4月10日…18,200部 【30号】8月1日…14,300部

【31号】10月1日…22,300部 【32号】2月1日…21,200部 合計 76,000部

(i) ホームページ、SNS等の活用

- a 「SLT」に掲載された著名人の一言コメント動画をYouTubeに投稿し、「SLT」の購読促進を図った。
- b デザイン及びセキュリティ対策を向上させたホームページにリニューアルし、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」に基づく公示のほか、協会の事業概要、財政状況及びコンプライアンスに係る情報等を公開するとともに、防火・防災及び応急手当講習の案内、申込受付状況等を公開した。
- c 「X」(旧Twitter)等のSNSを活用し、最新の防火・防災及び応急手当に関する情報や消防博物館及び池袋、立川、本所の各防災館等の各種イベントの案内等を発信した。

(ii) 火災予防運動における防火・防災普及啓発事業

秋と春の全国火災予防運動の機会を捉えて、防火防災思想の普及啓発事業を実施した。(秋：令和6年11月6日、春：令和7年2月28日)

- a 火災予防運動ポスターの作成、配布(秋・春、各21,800枚)

- b 著名人を起用した広報及び各予防運動イベント会場での、1日消防署長及び都民に対する防火防災訓練指導
 - 秋：【タレント】河北麻友子さん、ワーナーブラザーズスタジオツアー東京
-メイキング・オブ・ハリー・ポッター
 - 春：【タレント】高橋メアリージュンさん、昭和女子大学
- (イ) 危険物安全週間及び防災週間における防火・防災普及啓発事業

危険物安全週間及び防災週間の機会を捉えて、防火防災思想の普及啓発事業を実施した。（危険物安全週間：令和6年6月2日～8日、防災週間：令和6年8月30日～9月5日）

 - a 危険物安全週間ポスターの作成、配布（28,000枚）
 - b 防災週間ポスターの作成、配布（13,200枚）
- (ロ) 東京消防出初式における防火・防災普及啓発事業

東京消防出初式の屋外展示会場内において、防災啓発動画等を放映し、防火防災思想の普及啓発事業を実施した。（令和7年1月6日）
- (ハ) 防火防災標語による防火・防災普及啓発事業
 - a 防火防災への参画意識や防災行動力を高めることを目的として、東京消防庁主催の防火防災標語の選考委員会に選考委員として参画した。（令和7年2月14日）
 - b 広く都民等に防火防災標語の公募を周知するため、募集チラシを作成し、防火防災思想の普及啓発事業を実施した。（20,000部）
- (ニ) 地域の防火防災功労賞に関する事業
 - a 地震災害や風水害等の被害の軽減を図ることを目的として、東京消防庁が実施する町会・自治会・ボランティア団体及び各事業所等の地域の取組みを表彰する選考委員会に委員として参画した。（令和6年9月6日）
 - b 効果的な取組みを事例集として作成し、町会・自治会等に配布するほか、事例集をホームページに掲載し、防火防災意識の普及啓発事業を実施した。（11,380部）
- (ホ) 自主防災活動等に対する助成事業

防火・防災思想の普及活動を行う団体、応急手当の普及啓発を行う団体の活動等に対し、助成事業を実施した。（196件）
- (ヘ) 応急手当の普及啓発事業

救急医療週間及び各種イベントの機会を捉えて、著名人による応急手当及び救急車の適正利用に関する普及啓発事業を実施した。（救急医療週間：令和6年9月8日～14日）

令和6年度東京消防庁救急セミナー：【タレント】宮本茉由さん、新宿住友ビル三角広場（受講者264名、令和6年9月9日）

(g) 優良防火対象物認定表示制度（優マーク制度）の普及促進事業

優マーク制度に関する広報物を作成し、広く都民に周知し、優マーク制度の普及促進事業を実施した。

クリアファイルの作成・配布（2,000枚）

除菌ウェットティッシュの作成・配布（1,000個）

(h) 自衛消防訓練の普及促進事業

事業所の自衛消防訓練の促進及び自衛消防力の向上を図ることを目的として、普及促進ポスター等を作成し、自衛消防訓練の普及促進事業を実施した。

ポスター作成、配布（4,500枚）、リーフレット作成、配布（50,000部）

(i) 防火・防災管理講習の受講促進事業

令和6年度から開始したオンライン講習の周知を目的として、リーフレットの作成及び配布を実施した。

リーフレットの作成、配布（21,850部）

イ 消防用設備等点検済表示制度の推進事業

最新の知識と技術を身に付けた点検業者（表示登録事業者）による消防用設備等点検を促進することを目的として、次の事業を実施した。

(1) 制度をより浸透させるための広報及び点検済票貼付の促進

制度の周知と表示登録事業者の拡大を目的として、ポケットティッシュを作成し配布したほか、ホームページや関係団体が発行する機関誌に制度の概要や表示登録事業者の募集等を掲載し、広報した。（表示登録事業者307事業所、点検済票交付671,901枚）

ポケットティッシュの作成、配布（45,500個）

(2) 表示登録事業者に対する講習

表示登録事業者の実務能力の向上を目的として、点検保守業務に関する実技講習及び学科講習を開催し、法令改正や消防用設備等に係る最新の情報を提供した。

また、表示登録事業者に対するフォローアップとして、実技講習等の動画をホームページに掲載し、知識及び技術の向上につながるサポートを実施した。（実技講習1回31名、学科講習1回30名）

(3) 点検推進指導員による登録申請内容の確認事務

消防用設備等点検済表示制度の円滑な運用を目的として、表示登録事業者の事業所や点検実施場所に当協会の点検推進指導員が出向し、点検実施状況や消防用設備に貼

付する点検済票の管理方法を確認、指導した。（指導回数90件）

ウ 東京民間救急コールセンター運営事業

(7) 民間救急及びサポートC a b（タクシー）利用促進の普及啓発事業

救急車の適時・適切な利用の促進を目的として、ポスター等を作成するとともに、東京消防出初式等において、車両展示等による広報活動を実施した。

また、民間救急及びサポートC a b（タクシー）運営事業者の体制及び要望に関する実態調査を実施した。

ポスターの作成、配布（45,400部）

(i) 民間救急及びサポートC a b（タクシー）利用者との調整、配車案内

救急需要対策として、緊急性がない通院や受診、入退院や病院から病院への転院搬送等の際に、民間救急またはサポートC a bを案内した。

また、ホームページに閲覧者自身にて近隣の患者等搬送事業者を検索できるマップ機能を追加し、利便性を向上した。

民間救急：1,494件、サポートC a b：184件、相談890件

(ii) コールセンター登録事業者等に対するレベルアップ事業

コールセンターの登録事業者等に対して、容態が急変した場合の対応や、より質の高い患者搬送に資することを目的とした講習会を実施した。

第1回講習会：16事業者28名（令和6年11月23日）

第2回講習会：18事業所26名（令和6年11月26日）

エ 表彰事業

防火・防災に関する事業を長年にわたり積極的に推進し社会貢献を実施している団体、個人に対して次の区分毎に表彰を実施した。

(7) 協会上申による表彰関係

a 黄綬褒章 1名（令和6年4月29日）

永年にわたり消防機器の研究開発及び製造販売業務や消防設備保守業務等に精励するとともに、業界の発展に大きく寄与した個人に対する表彰。

b 総務大臣表彰 1団体（令和6年7月10日）

安全思想の普及徹底または安全水準の向上のため、各種安全運動、安全のための研究、もしくは教育または災害の発生の防止もしくは被害軽減に尽力し、または貢献した個人・団体に対する表彰。

c 消防庁長官表彰

永年にわたり、危険物関係事業所などにおいて危険物取扱いの技術向上、施設改善などにより、危険物の安全管理に努める等、国民生活の安全確保に顕著な功績の

あった個人・団体に対する表彰。

また、消防用設備等の設置及び維持管理の適正化を通じ、消防行政の推進に寄与し、その功績が顕著であった個人に対する表彰。

- ・危険物保安功労 1名（令和6年6月3日）
- ・優良危険物関係事業所 1事業所（令和6年6月3日）
- ・消防設備保守功労 2名（令和6年11月1日）

d 一般財団法人日本消防設備安全センター理事長表彰

国民の安全に係る研究、教育、訓練、安全思想の普及、防災機器・製品の普及等について、長年にわたり貢献し特に優れた功績をあげた個人・団体に対する表彰。

また、消防用設備等の設置、維持管理の適正化等に関し、永年にわたり、適正な業務を行い、または適正な業務の推進に尽力した個人・団体に対する表彰。

- ・消防設備保守功労 5名（令和6年11月1日）
- ・点検済表示制度推進優良事業所 2事業所（令和6年11月1日）
- ・防災安全功労者 1名、1団体（令和6年11月1日）

e 一般財団法人全国危険物安全協会理事長表彰

永年にわたり危険物関係業務に携わり、危険物災害の防止等に多大な功績をあげた個人・事業所に対する表彰。

- ・危険物保安功労 2名（令和6年6月3日）
- ・危険物関係事業所 1事業所（令和6年6月3日）
- ・退任感謝状 1名（令和6年6月3日）

f 関東甲信越地区危険物安全協会連合会長表彰

危険物施設の設備等の維持管理並びに保安管理等が優秀で他の模範となる個人・事業所に対する表彰。

個人9名、3事業所（令和6年5月9日）

(i) 当協会理事長による表彰

a 防火防災管理功労

防火安全の普及に努め、防火防災教育及び訓練等で顕著な功績を収めた団体及び防火管理団体の運営に多大な功績を収めた個人に対する表彰。

個人53名、29事業所（令和6年10月3日）

b 危険物保安功労

法令等を遵守し保安管理が適正で他の模範と認められる団体及び危険物に関する保安の確保、安全思想の普及等に多大な功績を収めた個人に対する表彰。

個人42名、34事業所（令和6年5月23日）

c 消防設備保守功労

消防用設備等の保守業務において、表示登録事業者として長年の実績を有する団体及び消防用設備等の保守業務において功績を収めた個人等に対する表彰。

個人12名、1団体、11事業所（令和6年10月3日）

d 応急手当普及功労

応急手当に関する各種講習会、行事等を積極的に推進し、応急手当の普及活動に取り組んだ団体及び個人に対する表彰。

2事業所（令和6年10月3日）

e 救急業務推進功労（感謝状）

応急救護講習の開催において、応急手当の普及啓発に多大な功績を収めた個人及び患者搬送事業の推進に多大な貢献をした事業所に対する表彰又は感謝状の贈呈。

個人1名、2事業所（令和6年10月3日）

f 理事等退任感謝状

理事等を務め、当協会の発展に多大な貢献をした個人又は団体に対する感謝状贈呈。

個人52名、2団体（随時表彰）

(2) 防火・防災・応急手当講習事業（公1-2）

防火・防災・救急業務関係者の育成を目的として、受講者のニーズに応えながら、次の事業を実施した。

なお、令和6年10月から令和7年3月までの間、東京消防庁消防技術試験講習場の改修工事が実施され、同講習場を使用していた講習については他会場により実施した。

また、各会場の定員に応じて、講習回数を調整して実施した。

ア 法令等に定められた資格取得講習

講習名		回数	人数
防火安全技術講習	本講習	3回	125名
	再講習	5回 (2回)	216名 (75名)
防火管理技能講習	本講習	4回	709名
	再講習	6回 (2回)	777名 (209名)
消防設備点検資格者講習	本講習	9回	1,277名
	再講習	19回	2,157名
可搬消防ポンプ等 整備資格者講習	一般	1回	37名
	特例	1回	73名
	再講習	1回	72名

防火対象物点検資格者講習	本講習	2回	293名
	再講習	5回	521名
防災管理点検資格者講習	本講習	2回	232名
	再講習	4回	435名

※()はオンライン講習の内数

イ 資格取得のための受験準備講習会

危険物及び予防行政等に精通した専門講師により、最新の法令改正内容や教訓となる災害事例を交え、各資格取得試験に向けた講習会を実施した。

講習名		回数	人数
危険物取扱者試験 受験準備講習会	甲種	2回	39名
	乙種第2、3類	1回	23名
	乙種第4類	8回 オンラインは通年	350名 195名
消防設備士試験受験準備講習会 (乙種第6類) ※オンラインのみ		通年	94名
自衛消防技術試験受験準備講習会		19回 (6回)	1,152名 (163名)

※() オンライン講習の内数

ウ 小規模社会福祉施設等の防火実務講習会(20回370名)

社会福祉施設等の施設関係者を対象に、火災発生時取るべき行動について、ARゴーグルを活用しながら、それぞれの施設の実情に応じた実践的な訓練を通して学ぶことができる出張オーダーメイド型の防火実務講習会を実施した。

エ 応急手当の普及啓発に関する講習会等

協会が作成した映像教材等を活用し、受講者や各種団体の多様なニーズ等に応じた講習を実施した。

講習名	回数	人数
救命サポート講習	32回	1,398名
救助・救命講習(JR東日本)	178回	4,373名
救助・救命講習(三井不動産)	16回	250名
島しょ地域の救命講習	8回	50名

オ 防火安全セミナー(令和6年8月9日)

消防法令の改正等に関する内容を都内事業所等関係者に周知することにより火災予防業務等の適正かつ円滑な実施及び防火意識の普及啓発を促すことを目的としたセミナーを東京富士大学で実施するとともに、受講機会の拡大のためオンデマンド型セミナーを実施した。

東京富士大学二上講堂で開催（参加者184名）

オンデマンド配信（参加者125名）

(3) 防火・防災・救急関係調査研究事業（公1－3）

防火・防災・救急に関する情報の収集及び調査研究を実施した。

ア 防火・防災・救急の意識と行動力の向上に関する調査研究

防災関連施設等を訪問し、効果的な運営方法等に関する調査研究を実施した。

「北淡震災記念公園野島断層保存館」「人と防災未来センター」（令和6年7月24日～25日）

イ 指導員の技能向上及び効果的な講習の実施要領に関する調査研究

応急手当に係る最新の知識・指導手技及び講習指導に関する救命救急の動向等について、情報収集を実施した。

(7) 日本臨床救急医学会（令和6年7月18日～20日）

(4) 日本救急医学会（令和6年10月13日～15日）

(7) 全国救急隊員シンポジウム（令和6年11月21日～22日）

(4) 試験確認事業（公1－4）

製造されたタンク及び金属製18L缶等が危険物の規制に関する基準を満たしていることを確認した。

また、水張済証の交付を実施した。

ア 少量危険物タンク試験確認（3件）

イ 金属製18L缶等試験確認（12件）

ウ 水張済証交付（8,800件）

(5) 患者用救急自動車運行事業（公1－5）

都立小児総合医療センターにおいて、新生児搬送用及び小児搬送用のドクターカー2台を運行した。

東京都福祉局荏原分室において、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく精神障害者搬送用の緊急自動車5台を運行した。

また、地方独立行政法人東京都立病院機構が運営する病院（東京都立多摩南部地域病院）において、患者搬送用の緊急自動車を運行した。

ア 小児・新生児病院における救急車運行事業（出動458件、搬送人員431名）

イ 東京都福祉局における緊急自動車運行事業（出動1,613件、搬送人員1,520名）

ウ 地方独立行政法人東京都立病院機構における緊急自動車運行事業（出動36件、搬送人員34名）

2 公2事業

(1) 防火・防災・消防講習事業(公2-1)

防火管理者、防災管理者、危険物取扱者及び消防設備士の育成を目的として、受講者のニーズに応えながら、次の事業を実施した。

なお、令和6年10月から令和7年3月までの間、東京消防庁消防技術試験講習場の改修工事が実施され、同講習場を使用していた講習については他会場により実施した。

ア 防火・防災管理講習事業

講習名	回数	人数
防火・防災管理新規講習	207回 (24回)	29,139名 (2,338名)
防災管理新規講習	7回	597名
乙種防火管理講習	46回	3,157名
防火・防災管理再講習	28回	2,726名
甲種防火管理再講習	12回	801名

※()はオンライン講習の内数

イ 消防講習事業

講習名	回数	人数
危険物取扱者保安講習	34回 (12回)	4,775名 (1,640名)
消防設備士講習	34回 (8回)	7,087名 (1,920名)

※()はオンライン講習の内数

(2) 救命講習事業(公2-2)

都民の応急手当に関する知識技術の向上を目的として、受講者を多く収容できる会場の確保や指導体制の強化等、受講者の拡大を図りながら、自信を持って応急手当が実施できるよう、次の事業を実施した。

講習名	回数	人数
普通救命講習	3,114回	114,638名
普通救命再講習	904回	16,111名
上級救命講習	1,338回	25,257名
上級救命再講習	1,050回	17,477名
応急手当普及員講習	62回	817名
応急手当普及員再講習	144回	1,560名
現場派遣員基礎講習	21回	205名
現場派遣員実務講習	40回	515名
患者等搬送乗務員基礎講習	38回	241名
患者等搬送乗務員再講習	31回	460名
応急手当指導員再講習	8回	164名

ア 応急手当に関する自信度を高めるための課題を的確に抽出するため、受講者へのアンケート等の調査を実施し、得た結果を東京消防庁と共有するとともに、実際にAEDの使用要領等をその場で確認できるよう、東京消防庁公式アプリ上に搭載されている応急手当に係るサポート動画を受講者等へ周知しながら、同アプリの利用促進を図った。

イ 受講者に対するフォローアップとして、講習内容を見直し、応急手当への自信度を深めることができるよう受講者専用の応急手当動画を作成し、知識及び技術の向上につながるサポートを実施した。

ウ 各種救命講習の質的向上を図ることを目的に、救命講習等のインストラクター（応急手当指導員）に指導・助言を行う専門的知識・技術を有する者をインストラクター指導員と称し、インストラクター指導員が各救命講習会場を巡回し、インストラクターに対し、技術指導や助言を行い、インストラクターの指導能力の向上を図った。

3 公3事業

防火防災思想の普及及び防災行動力の向上を目的として、消防博物館及び各防災館を運営するにあたり次の事業を実施した。

また、外国人・障害者等の来館者の多様なニーズにも配慮して館運営を実施した。

館等	開館日数	来館者数
消防博物館	301日	173,824名 (27,125名)
池袋防災館	323日	61,669名 (16,425名)
立川防災館	296日	71,879名 (1,293名)
本所防災館	296日	115,844名 (16,591名)
池袋防災館ナイトツアー		1,061名
起震車	稼働日数 348日	262件、参加者 31,609名

※（ ）内外国人の内数

(1) 消防博物館運営事業（公3－1）

ア 消防ヘリコプターの模擬操縦体験や消防団に関するクイズ等、リニューアルされた「現代の消防」コーナーを公開するとともに、所蔵品の公開展示や地域社会の関心を捉えた特別企画を実施する等、幅広い層の来館者に対し、防火防災思想の普及を促進した。

イ これまで消防博物館のデジタル化で進めてきたオンライン環境による情報発信等（ポケット学芸員の導入、360度カメラによる館内パノラマツアー、収蔵品サイトの公開）の各種ツールを引き続き活用し、これまで来館していない層の掘り起こしを図った。

ウ 阪神・淡路大震災から30年の節目を迎えたことから、当該震災に関連した記録映像や写真等の所蔵品を公開する等、年間を通じて広報活動を推進した。

エ 令和6年12月19日に、平成4年12月3日の開館以来の来館者累計500万人を達成し、記念セレモニーを行った。

オ 企画展等については、別紙1のとおり。

(2) 防災館運営事業（公3-2）

ア 池袋・立川・本所の各都民防災教育センター（防災館）において、火災、地震及び水災等の模擬体験コーナーを活用し、各館の特色を生かしながら満足感を得てもらえるきめ細やかな体験ツアーを実施した。

(イ) 池袋防災館においては、夜間の災害を想定した体験ツアー（ナイトツアー）や、外国人を対象とした「やさしい日本語」の防災体験ツアーを実施した。

(ロ) 立川防災館においては、東京消防庁航空隊及び第八消防方面本部と連携したイベントを実施し、防災館での体験につなげるとともに、起震車を活用して学校や地域の防火防災訓練指導を実施した。

(ハ) 本所防災館においては、浸水体験に特化した特別ツアーを実施するとともに、短時間でも防災訓練を体験できるショートコースのツアーを実施した。

イ 阪神・淡路大震災から30年の節目を迎えたことから、当該震災に関するパネル展示等の特別企画展を実施するとともに、阪神・淡路大震災の揺れを想定した地震体験へと誘導する等、防災行動力向上のための事業を実施した。

ウ 企画展等については、別紙2のとおり。

II 収益事業等

防災・救急関係図書等販売事業（収1）

防火・防災・救急に関する図書、資器材等の販売、法令に基づく防火対象物の認定証頒布等、次の事業を実施した。

1 防火・防災・救急関係図書の販売

講習教材販売について、令和6年4月からオンライン講習の防火・防災管理講習（新規及び再講習）、10月から対面講習の防火・防災管理新規講習及び乙種防火管理講習について、オンラインショップ（ECサイト）での教材販売を開始した。

2 防火・防災・救急関係資器材の販売

(1) 防火・防災関係図書（121, 711冊）

(2) 救急関係図書（406, 961冊）

(3) 防火・防災・救急関係資器材等のグッズ販売（60, 082個）

3 防火セイフティマーク、優良防火対象物認定証等の頒布

- (1) 防火・防災基準点検済証（20枚）
- (2) 防火・防災優良認定証（18枚）
- (3) 優防火対象物認定証（12枚）
- (4) 患者等搬送用自動車用認定マーク（28枚）
- (5) 患者等搬送事業所用認定マーク（8枚）

III その他法人の目的を達成するために必要な事業

1 DXの体制強化

- (1) 情報セキュリティ体制の強化

情報セキュリティ体制の更なる強化を図るため、東京都デジタルサービス局からの支援による、保有するウェブサイトのリスク評価及びネットワーク機器等のサイバーセキュリティ脆弱性診断を行うとともに、使用している各システムのIDやログ管理の徹底、職員へのセキュリティ教育の実施等、強化に向けた取組みを実施した。

- (2) 現行運用システムの調査委託

ITコンサルタントに対し、現行システムに関する調査を委託した結果を踏まえ、都民の利便性向上や情報資産の管理などを主眼としたシステムの更新等について検討した。

2 DXの推進

都民の利便性及び協会の事務効率の更なる向上を図ることを目的として、システムの導入や整備を推進した。

- (1) オンライン講習の充実（自主事業）

各種講習において実施しているオンライン講習について、受講者の拡大を目的として、受講者へのアンケート調査等を通じて分析及び検証を行い、受講者ニーズを適切に踏まえながら事業を推進した。

- (2) インボイス制度及び電子帳簿保存法への対応

インボイス制度及び電子帳簿保存法に対応したクラウド会計ソフトにより適切に電子管理した。

- (3) AR技術を活用した事業

近年のデジタル技術の発展によるAR技術（拡張現実）を活用し、時代のニーズに即した講習を事業所、病院、教育機関及び公共機関等にて実施した。

3 グローバル社会への対応

都内在住の外国人が年々増加し、在住外国人の防災知識の普及啓発や防災行動力の向上が喫緊の課題となっていることに鑑み、固有職員として在職している外国人スタッフを活用し、外国人のための防災体験ツアーを実施するとともに、消防博物館や各防災館の運営、各種講

習時における外国人への対応のほか、消防行政機関等と連携した在住外国人への防災訓練等、外国人ならではの目線を取り入れながら、ニーズに応えるための事業を推進した。

4 東京マラソン2025への協力

東京マラソンの後援団体として、東京マラソン2025開催時に救護所等へ職員を派遣した。（救護活動支援25名、コールセンター登録事業者車両41台）

また、大会ボランティアスタッフへ応急手当の指導を実施した。

IV 協会の運営管理

1 評議員会、理事会の開催

協会の適法かつ円滑適切な運営を図ることを目的として、評議員会及び理事会を開催した。

(1) 第57回理事会（令和6年6月3日）

第1号議案「令和5年度事業報告及び附属明細書について」

第2号議案「令和5年度決算報告（貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書）及び財産目録について」

第3号議案「評議員の候補者について」

第4号議案「理事の候補者について」

第5号議案「第40回評議員会（6月期）の議題の追加について」

第6号議案「第41回評議員会（3月期）の招集について」

(2) 第40回評議員会（令和6年6月18日）

第1号議案「令和5年度決算報告（貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書）及び財産目録について」

第2号議案「評議員の選任について」

第3号議案「理事の選任について」

(3) 第58回理事会（令和7年3月6日）

第1号議案「令和7年度事業計画書及び収支予算書等について」

第2号議案「評議員の候補者について」

第3号議案「理事の候補者について」

第4号議案「事務局長の選任について」

第5号議案「第41回評議員会（3月期）の議題の追加について」

第6号議案「第42回評議員会（6月期）の招集について」

(4) 第41回評議員会（令和7年3月18日）

第1号議案「評議員の選任について」

第2号議案「理事の選任について」

第3号議案「公益財団法人東京防災救急協会評議員及び役員の報酬等に関する規程の一部改正について」

(5) 第59回理事会（令和7年3月31日）

第1号議案「令和6年度役員報酬支給額の改定について」

第2号議案「令和7年度役員報酬支給額の改定について」

第3号議案「重要な使用人（救急事業本部長）の選任について」

2 コンプライアンスの確保に向けた取組み

協会における更なるコンプライアンスへの取組みの推進を図るため、新たに設置したコンプライアンス専門指導員により確認した業務の執行状況等を、コンプライアンス推進委員会にて定期的に報告し、コンプライアンスの推進に係る施策の立案に反映させる等、推進体制を強化した。

(1) 監査法人による公益法人会計監査（期末監査）（令和6年5月13日～15日）

(2) 監事による令和6年度事業、決算・業務監査（令和6年5月20日、21日、27日）

(3) 監査法人による公益法人会計監査（期中監査）（令和6年11月14日、15日）

(4) コンプライアンス専門指導員による内部監査（令和6年6月25日、9月3日、12月19日、令和7年3月4日）

3 防災関係団体との連携交流

一般財団法人全国危険物安全協会、一般財団法人日本消防設備安全センター等と連携し、事業の円滑化を図ることを目的として、積極的な交流を図った。

4 職員の人材育成

都民や受講者へのサービスの向上を図ることを目的として、教育技能研修や主任研修等の受講による人材育成を推進した。

5 職場体験の受入れ

社会貢献活動の一環として、職場体験型インターンシップの受入れを実施した（救急指導課及び各防災館に東京都立大学生各1名が実施）。

別紙1

1 博物館

(1) 企画展

開催期間	名称	来館者数
4月27日 ～5月26日	ゴールデンウィーク・こどもの日特別企画展 「集まれ！世界の消防ミニカー展」	17,098名
7月13日 ～9月16日	前期特別企画展 「水難救助隊発足50周年記念展」	38,958名
11月2日 ～3月9日	後期特別企画展 「阪神淡路大震災から30年 江戸から令和の震災展」	59,714名
1月21日 ～3月23日	東日本大震災・原子力災害伝承館出張展示	33,843名

(2) イベント

開催期間	名称	参加者数
10月1日	都民の日特別イベント 「スタッツ消防ポンプ自動車 乗車撮影会」	60組
12月19日	来館者500万人達成記念セレモニー	
12月22日	クリスマスイベント 「消防博物館にサンタがやってきた！」	60組

(3) 関係機関との連携事業

開催期間	名称	参加者数
7月1日 ～3月31日	「行こう、学ぼう、防災体験」 （東京都教育庁）	195名

別紙2

1 池袋防災館

(1) 企画展

開催期間	名称	来館者数
4月27日 ～5月6日	ゴールデンウィーク・こどもの日特別企画展	1,302名
6月1日 ～6月28日	風水害対策特別企画展	5,057名
8月17日 ～9月5日	防災週間特別企画展 「地域の防災力を高めよう」	3,370名
9月4日 ～10日	救急医療週間特別企画展 「救急の日・救急医療週間に救急について学ぼう」	1,395名
11月2日 ～17日	秋の火災予防運動特別企画展 「火災から尊い生命を守ろう」	3,295名
1月11日 ～20日	防災とボランティア週間特別企画展 「災害に備えよう」 阪神・淡路大震災30年特別企画展	1,901名
2月22日 ～3月10日	春の火災予防運動特別企画展 「もう一度 確認 安心 火の用心」	3,687名

(2) イベント

開催期間	名称	参加者数等
通年 (毎週金曜日)	ナイトツアー	256組 1,061名
通年 (24回)	新米パパママ応急手当講習会	138組 378名
通年 (24回)	外国人のための防災体験 (やさしい日本語防災体験ツアー)	90組 227名

(3) 関係機関との連携事業

開催期間	名称	参加者数
7月1日 ～3月31日	「行こう、学ぼう、防災体験」 (東京都教育庁)	1,055名
7月27日	「東京マイ・タイムライン」親子セミナー (東京都総務局総合防災部)	61名
2月16日	外国人のための防災体験ツアー (東京都生活文化スポーツ局)	60名

2 立川防災館

(1) 企画展

開催期間	名称	来館者数
4月27日 ～5月6日	ゴールデンウィーク・こどもの日特別企画展 「東京消防庁立川防災基地を知ろう」	1,749名
6月2日 ～6月30日	風水害対策特別企画展 (令和元年東日本台風 台風19号における多摩地区の被害状況写真及び家庭でもできる簡易水防工法の展示)	3,578名
7月15日 ～8月17日	夏休み特別企画展 「ハイパーレスキュー隊化学災害対応車両・立川消防署特殊車両」「消防クラシックカー」	6,367名
8月17日 ～9月5日	防災週間特別企画展 「教えて！防災館 防災週間ってなに？家具転対策、防災訓練」	3,836名
11月1日 ～15日	秋の火災予防運動特別企画展 「教えて！防災館 防災の知識で守る、私たちの未来」	1,771名
1月10日 ～22日	防災とボランティア週間特別企画展 「教えて！防災館 防災の知識とボランティアの力で守ろう、私たちの地域」 阪神・淡路大震災30年特別企画展	1,869名
2月21日 ～3月12日	春の火災予防運動特別企画展 「教えて！防災館 火災から尊い命を守ろう」	2,909名

(2) イベント

開催期間	名称	参加者数
4月29日	ハイパーレスキュー隊見学会	190名
5月5日	家族で出場「火災現場に急行せよ」	107名
8月17日	夏休み特別企画「防災館ナイトツアー」	49名
11月10日	秋の火災予防運動特別企画「航空隊見学会」	70名
12月21日	冬休み特別企画「クリスマス防災ミニコンサート」	98名
通年(24回)	新米パパママ応急手当講習会	257名

(3) 関係機関との連携事業

開催期間	名称	参加者数
7月1日 ～3月31日	「行こう、学ぼう、防災体験」(東京都教育庁)	1,343名
7月20日	「東京マイ・タイムライン」親子セミナー (東京都総務局総合防災部)	20組48名
7月30日	「夏休み親子講座」(東京都多摩消費者センター)	20組40名
8月21日	都立大学プレミアムカレッジ防災体験(東京都立大学)	49名
8月24日	わくわく!!ぼうさい体験教室 (東京消防庁防災部防災安全課)	190名
11月30日	外国人のための防災体験ツアー (東京都生活文化スポーツ局)	48名
12月6日 ～12月11日	土砂災害防止に関する作品の展示 (東京都建設局)	1,302名

3 本所防災館

(1) 企画展

開催期間	名称	来館者数
4月27日 ～5月6日	ゴールデンウィーク・こどもの日特別企画展	2,591名
7月11日 ～8月13日	夏休み特別企画展 「知ろう！日常に潜む危険」	10,204名
8月16日 ～9月5日	防災週間特別企画展 「地域の防災力を高めよう」	9,889名
10月31日 ～11月19日	秋の火災予防運動特別企画展 「防災の知識で守る、私たちの未来」	6,019名
1月9日～21日	防災とボランティア週間特別企画展 「地震に備えよう」	3,266名
1月9日 ～3月31日	阪神・淡路大震災30年特別企画展	22,267名
2月20日 ～3月11日	春の火災予防運動特別企画展 「目で確認 声出し確認 火の用心」	5,514名

(2) イベント

開催期間	名称	参加者数
5月3、4日	ゴールデンウィーク・こどもの日親子防災体験	164名
7月28日	親子ナイトツアー	43名
8月3、4日	親子ファイヤーファイターツアー	117名
8月30、31日	ウォーターツアー	14名
12月15日	親子防災体験「サンタと一緒に学ぼう防災体験」	51名
12月15日	おはなし会（防災紙芝居）	16名
3月14日 ～4月20日	新入生、新社会人特別企画 「フレッシュヤーズフェア」	545名
通年（14回）	新米パパママ応急手当講習会	194名

(3) 関係機関との連携事業

開催期間	名称	参加者数
5月2日 ～5月7日	「こどもの身近な事故防止」 （東京都生活文化スポーツ局）	1,615名
5月7日～31日	水防月間に伴うパネル展示（東京都建設局）	6,903名
6月23日	外国人のための防災館ツアー （東京都生活文化スポーツ局）	80名
7月1日 ～翌年3月31日	「行こう、学ぼう、防災体験」 （東京都教育庁）	906名
8月8日～20日	はたらく消防の写生会優秀作品展示（本所消防署）	3,817名
8月12日	東京マイ・タイムライン」親子セミナー （東京都総務局総合防災部）	48名
11月28日 ～12月3日	土砂災害防止に関する作品の展示 （東京都建設局）	2,206名
2月6日	在京大使館のための防災館ツアー （東京都政策企画局）	45か国 68名

事業報告の附属明細書

令和6年度は、定款第8条第1項第2号に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はなし。